

最優秀賞

海田町 『広報かいた』 (令和7年12号)



- 発行部数 (年間発行回数) : 14,000部 (12回)
- 担当課 : 企画部かいたブランド課
- 連絡先 : 082-823-9212

【担当者より (主な記事の掲載意図)】

メイン特集である「今をときめくまちのあの人に会いに行く」では、校舎建替を予定している海田東小学校の先生方を取材。「海田っ子の未来」や「教育現場の環境」の取材を行うことで、子どもたちを支える教育現場を町民にも知ってもらいたいと思い掲載。先生方の児童への思いに加え、教育現場のデジタル化も併せて掲載し、施策の進捗状況も発信する内容とした。

＝講評＝

【表紙】

- 先生を取り上げているのが面白い。
- 先生たちの明るく親しみやすい表情が良い印象を与えている。

【特集】

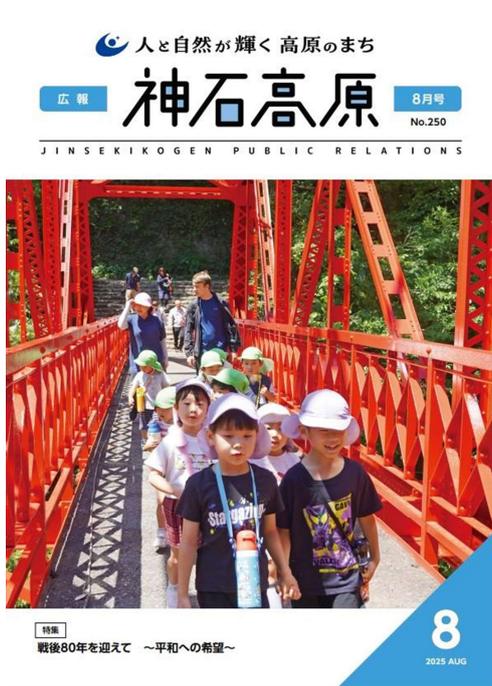
- 企画も丁寧に作り込まれ、先生方の子どもたちに向き合う姿勢が真摯に伝わってくる。
- デジタルツールの利点と課題を模索している様子がしっかりと伝わってくる。

【全体】

- 写真やイラストを効果的に使い、行間やマーカーで読みやすく工夫されている。

優秀賞

神石高原町 『広報神石高原』(令和7年8月号)



- 発行部数（年間発行回数）：4,100部（12回）
- 担当課：政策企画課
- 連絡先：0847-89-3351

【担当者より（主な記事の掲載意図）】
 戦後80年を迎える今、被爆体験を聞く機会が少なくなっているのので、町出身の方の実体験を次の世代に語り継ぐために掲載しました。

＝講評＝

【特集】

- 戦争体験者の素直な体験談が載っており良い。
- 読者が戦争への新しい気づきを得るような内容である。

【全体】

- オールカラーで写真・イラストを多用し、明るい雰囲気で見やすくまとめられている。